

## 名鉄岐阜駅 新駅舎の概要が決定

名古屋鉄道では、新岐阜駅ビル解体にともなう名鉄岐阜駅(岐阜市神田町9丁目、駅長・木村義美)部分の建替えについて検討を進めておりましたが、このほど新駅舎の概要がまとまりましたので、お知らせいたします。

現駅舎は、6月24日(土)から解体を開始した新岐阜ビル北側に位置しており、同部分の解体工事が終了する本年12月中旬から新駅舎新築工事に着手し、完成は平成19年6月中旬の予定です。

新駅舎の構造は鉄骨造2階建てで、一階に電気・通信施設など、二階にコンコース・駅サービスセンター・多目的トイレ・駅務室・待合室などを設置します。二階の駅部分には、自動券売機、自動改札機、精算機を設置します。また、バリアフリー対応として、一階と二階コンコースを結ぶエレベーター2基とエスカレーター上下各1基ずつを設置するほか、名古屋本線と各務原線の乗り換え利便性を高めるため、各務原線ホーム側にもエレベーターを1基設置します。さらに、列車との段差解消のため名古屋本線・各務原線各ホームのかさ上げ(約10cm)も実施します。このほか、駅舎北側の駅前広場にタクシー・一般車用スペースや歩道を整備します。建設費用は約20億円です。

### <名鉄岐阜駅完成予想図>



以上